

マカス島日本軍守備隊

司令官に告ぐ

大日本帝國は八月十五日畏れ多くも天皇陛下の命に依り聯合諸國に對し無條件降伏をなせり。帝國全陸海空軍は直ちに武装を解除し、速やかに聯合軍に投降すべし。是は畏くも大日本帝國天皇より降下された無條件降伏の大命なり。日本軍本島司令官並將兵諸君は畏くも大御心に答へ奉るべく次の事項に従がはれん事を望む。

一、飛行場滑走路の一端に二個の白十字若くは二個の落下傘を近巨離に配置せば貴官は聯合軍に對し協議する意ある旨を認むるものとす。

二、此の標識を聯合軍が発見したる場合聯合軍の軍艦一隻は貴官の指揮する本島に近接し、擴声器を以て日本人より降伏條件を傳ふるものとす。尚此の軍艦には一流の白旗をマストに掲げる。

三、此の軍艦の來島の際、貴官は次の事項を行ふべし。

(1) 太き一流の白旗並に照明及煙を使用し小舟艇に適す上陸地矣を指示され度し。

(2) 此の地矣に於て、貴官若しくは貴官の代表者は我舟艇の到着を迎へ同時刻舟艇にて本艦に到り協議を行ふものとす。

而して之の代表者は絶対に捕虜としては取扱はず、協議終了後は直ちに同島へ護送するものとす。

四、貴官は直ちに本島の部下に對して聯合諸國の艦船及飛行機に發砲する事を禁ずべく命令を下すべし。以上

米軍司令官